

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農業委員会事務局		■担当係	総務係
■評価事業名称	農業委員活動交付金			
■事業開始年度	平成13年度			
■評価事業コード	520100 - 006	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	04 地域産業を担う人づくりと雇用環境の向上		
	■施策	04 農林業の担い手等人材の育成支援		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)	■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	農業委員会等に関する法律			
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	農業委員と農地利用最適化推進委員が連携し、担い手への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規就農者の支援を推進する。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	農業委員活動交付金	委員会	農業委員会活動交付金交付金…1,317,000円 総会…14回①研修活動…5回②自主活動…8回③役員会の開催…13回④農業委員会だより編集委員会…4回⑤農作業労賃標準額設定検討委員会…1回	交付金…343,048円 総会…14回①研修活動…6回②自主活動…11回③役員会の開催…16回④農業委員会だより編集委員会…4回

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	856	1,317	1,228	343	
人件費	2,553	1,679	2,229	2,439	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	3,409	2,996	3,457	2,782	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	①総会②研修活動など	46回	67回	48回	51回	・総会、研修活動、自主活動、役員会、編集委員会の実施回数

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

委員の改選があった中で、研修会や自主事業を積極的に実施することができた。一方で年度末には、実施予定だった事業(視察研修、全体会議等)がコロナウイルスの影響で中止になるなど、予定通り実施できない事業もあった。農地利用最適化に向けた取組としては、農地パトロールの強化や地域農業マスタープラン実質化への協力などを推進することができた。

問題点・課題等

農業者が減少していることから、遊休農地の発生が予想される。また、経営規模の拡大を目指す農業者や新規就農者が少ない状況となっている。農地利用の最適化のためには、農業委員、推進委員の更なるスキルアップが必要となっている。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

農業委員会の活動(研修や自主活動等)の支柱となる事業であるため、継続が必要。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了